

2021 年度
(令和 3 年度)
事 業 報 告

社会福祉法人 悠久会

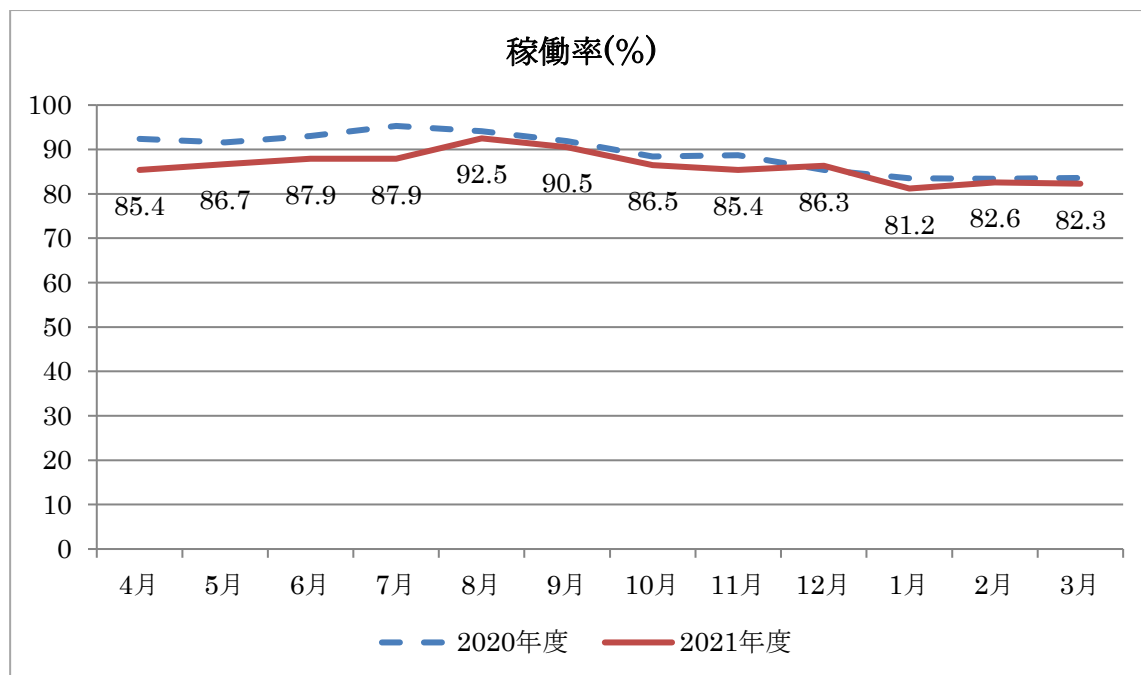
事業別概要

1. (従来型)特別養護老人ホーム八千代城
2. (従来型)特別養護老人ホーム八千代城 短期入所生活介護
3. ユニット型特別養護老人ホーム八千代城
4. 八千代城デイサービスセンター
5. グループホーム悠々やちよ
6. ケアハウス青空
7. 八千代市在宅介護支援センター八千代城
8. 八千代台地域包括支援センター

1. (従来型)特別養護老人ホーム八千代城 長期入所 定員 68 名

(1) 稼働状況

年月	2021 年(令和 3 年)									2022 年(令和 4 年)		
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
延べ利用者数	1744	1828	1794	1854	1952	1848	1824	1744	1821	1713	1574	1736
100 % 時	2040	2108	2040	2108	2108	2040	2108	2040	2108	2108	1904	2108



年間平均稼働率 86.32% 前年度比 -2.99% (前年度 89.31%)

- ・年間入所者数 15 名 ・年間退所者数 17 名(前年度入所 17 名 退所 18 名)
- ・平均要介護度 3.64

○他施設と事前面接が重なるケースが増えており、比較的受入が容易と想定されるケースは他施設と取り合いのようになることもある。

○相談員が介護業務の補助に入ることも多く、新規受け入れに当たっての事前面接のスケジュール調整が難しいことが多い状況にある。退所後の補充に遅れが生じがちであった。

○年間延入院人数(日数)が 1,481 人(日)と非常に多かった。

(2) 報告事項・課題点等

○感染症対策

- ・施設内での新型コロナ陽性者発生はなし。感染疑いでの隔離は発生した。
- ・面会については年度を通じて原則リモートでの対応(5月18日現在も継続)。直接面会できないことに対するクレームまではないが、対面による面会の希

望は増えてきている。いつ頃から可能かなどの問い合わせが増加傾向。

○職員状況

- ・夜勤に入ることができる職員の確保が進んでいない。
- ・相談員やケアマネージャーが介護補助に入らなければならない場面が多い。

○事故等

- ・医療機関受診を要した事故(転倒による骨折等) 6件
- ・誤薬・軽微な傷などは多くあり。

○行事等

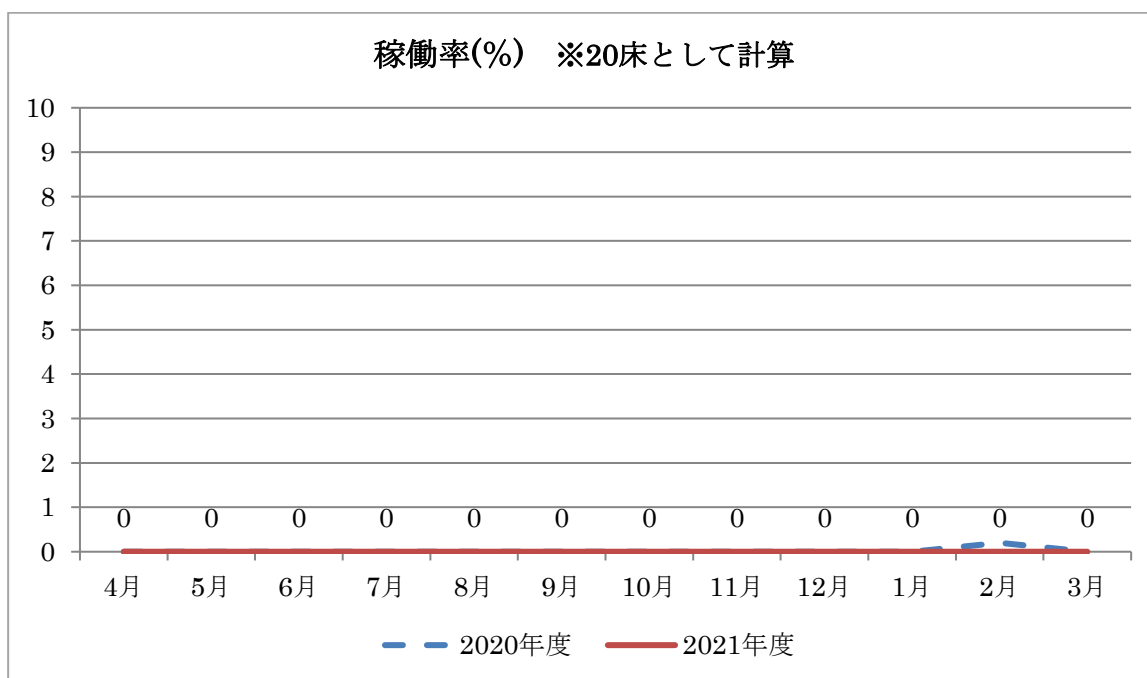
- ・新型コロナの影響で本格的な外出行事はできなかったが、年度末頃から散歩程度は実施するようになってきている。
- ・室内レクや行事食で気分転換を図るよう努めた。
- ・園芸の希望が利用者から出ているので、次年度は実施を検討する。

2. (従来型)特別養護老人ホーム八千代城 短期入所生活介護(ショートステイ)

※(定員20名の併設型は2015年9月1日よりサービス休止)(空床型のみ運用中)

(1)稼働状況

年月	2021年(令和3年)									2022年(令和4年)		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延べ利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100%時	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-



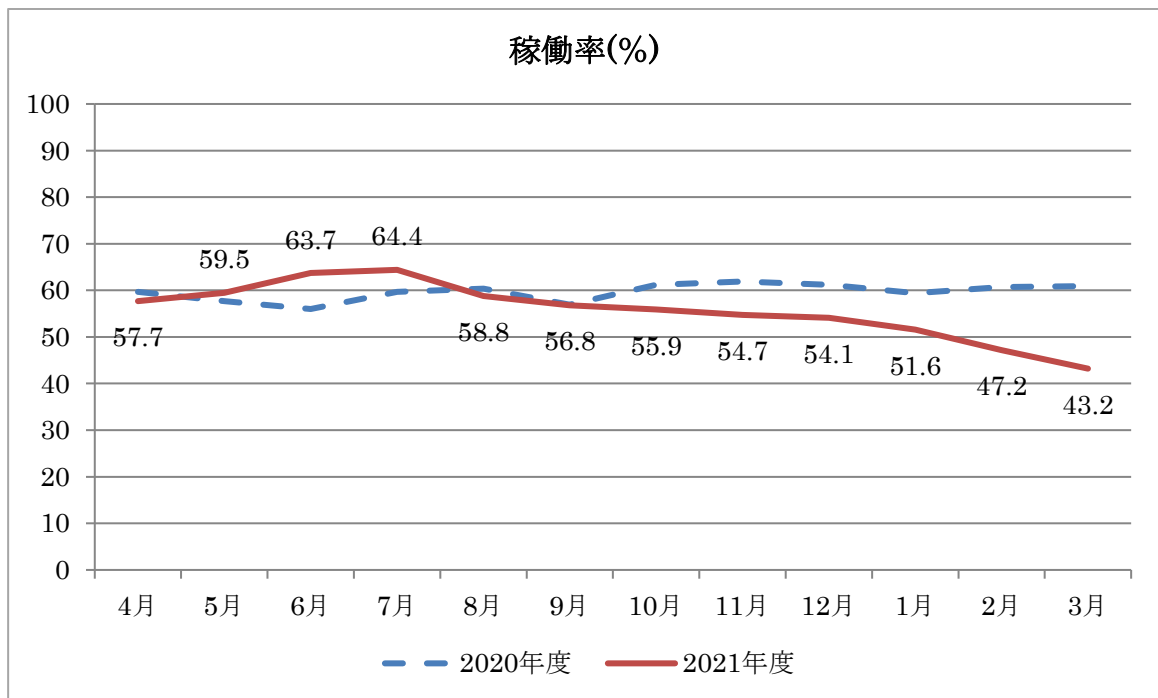
年間平均稼働率 0.00% (前年度 0.00%) ※20床として算出した場合の稼働率

- ・介護職員・看護職員の不足により、併設型は引き続き休止しています。今年度、稼働はありませんでした。

3. ユニット型特別養護老人ホーム八千代城 定員45名

(1) 稼働状況 ※職員数不足により45床中30床のみ稼働中

年月	2021年(令和3年)									2022年(令和4年)		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延べ利用者数	779	831	860	899	821	768	780	739	755	720	595	603
30床満床時	900	930	900	930	930	900	930	900	930	930	840	930
45床満床時	1350	1395	1350	1395	1395	1350	1395	1350	1395	1395	1260	1395



年間平均稼働率 55.66% 前年度比 -4.03% (前年度 59.69%)

(※45床中30床のみ稼働中 30床満床で稼働率 66.66%)

- ・年間入所者数 3名 ・年間退所者数 10名 (前年度 入所 8名 退所 7名)
- ・平均要介護度 3.31

○年度末に新型コロナウイルスの施設内感染が発生。感染症対応に追われ稼働が低下してしまった。

○年間延入院人数(日数)が664人(日)と多かった。

○利用料が従来型と比べて高いため負担が大きく、従来型へ移動の希望が出ることがある。今年度は1名の方が実際に移動している。

○他施設と事前面接が重なるケースが増えており、比較的受入が容易と想定されるケースは他施設と取り合いのようになることもある。

○相談員が介護業務の補助に入ることも多く、新規受け入れに当たっての事前面接のスケジュール調整が難しいことが多い状況にある。

(2) 報告事項・課題点等

○感染症対策

- ・2022年2月に利用者・職員に複数名新型コロナ陽性者が発生。保健所の指導の下、ゾーン分け等実施し対応する。通常体制に戻るまで約1か月かった。
- ・面会については年度を通じて原則リモートでの対応(5月18日現在も継続)。直接面会できないことに対するクレームまではないが、対面による面会の希望は増えてきている。いつ頃から可能かなどの問い合わせが増加傾向。

○職員状況

- ・夜勤に入ることができる職員が少ない為、正職員はほぼ夜勤のみとなってしまうことが多い。
- ・入浴介助(特浴)についてはケアマネージャーが担当する状況が続いている。

○行事等

- ・職員数に余裕がなくあまり企画行事等を実施する余裕がなかった。

○事故等

- ・医療機関受診を要した事故(転倒骨折等) 6件

○その他

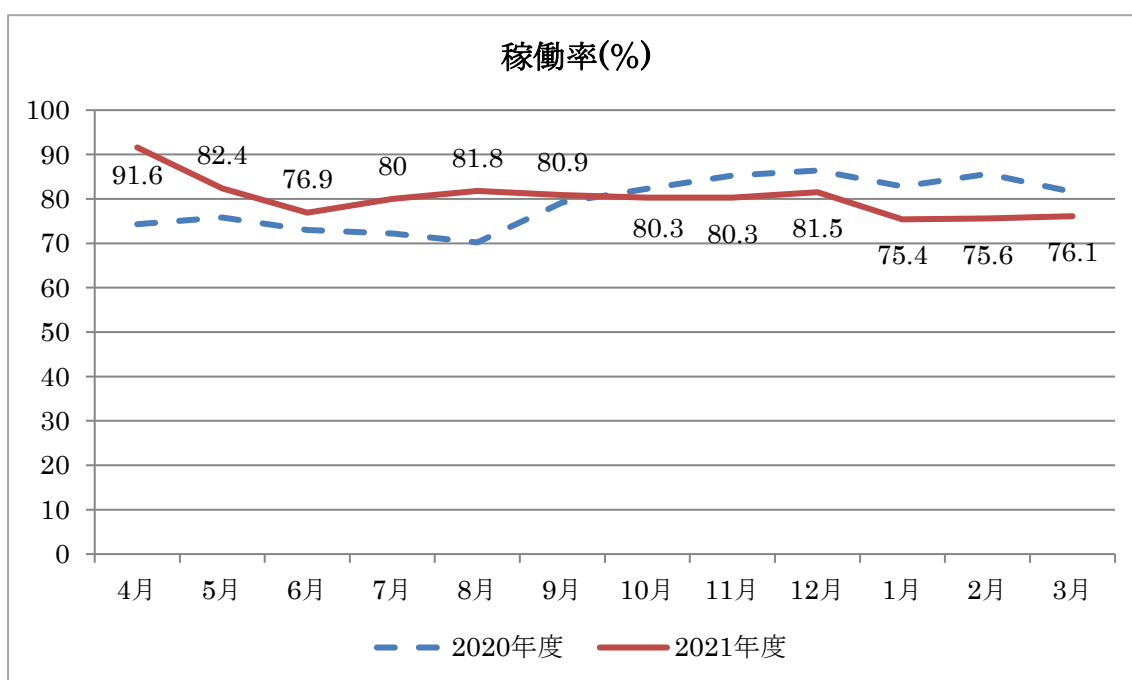
- ・職員間での報告・連絡・相談が徹底されていな時が見受けられた。ミーティング等により改善に努めている。

4. 八千代城デイサービスセンター

定員 18名/日

(1) 稼働状況

年間営業日数	309日
延べ利用者数	4,468人
100%稼働時延べ利用者数	5,562人
1日あたり平均利用者数	14.4人
年間稼働率	80.28%
平均要介護度(2022年3月)	要介護2.00
登録利用者数 (2022年3月現在)	29名



- ・年間平均稼働率 80.28% 前年度比 +1.18% (前年度 79.10%)
- ・平均介護度 2.0
- ・新規利用者数 11名 利用廃止者数 9名 (前年度新規13名 廃止13名)

○他事業所で断られたケースの依頼が増えてきており、そのようなケースを受け入れていく体制作りが課題。

○他事業所ケアマネージャーからの受け入れ件数が増加している。当法人の在宅介護支援センターからのケースはケアマネージャーの人数が減っているため増やすことができない状況(特定事業所集中減算の都合)。

毎月の実績報告などでこまめに他事業所を訪問する(緊急事態宣言期間等は除く。)ことでつながりができており、新規利用者の紹介にもつながっている。ケースの依頼を受けていない事業所へも空き状況等をFAXなどで送っているが、

こちらについては効果が見られなかった。つながりを増やすために今後も続けていく。

(2) 報告事項・課題点等

○広報活動

- ・ Facebook 更新頻度が多くないこともあり閲覧数は横ばいである。
- ・ 広報誌の発行は今年度もできなかった。次年度検討とする。

○事故

- ・ 医療機関を受診した事故 1件
- ・ ヒヤリハット・医療機関受診を要しなかった事故等 6件
- ・ 前年度多く発生した送迎時の事故は0件
運転手会議等により定期的に注意点を再確認するようにしたことなどにより事故予防をできたと思われる。
- ・ 認知症利用者・動作能力が低下してきている利用者の介助方法等について再度研修をしていく必要がある。

○苦情・要望

- ・ 苦情 2件

○行事等

- ・ 新型コロナウイルスの影響により外出行事は実施せず、施設内行事のみとした。栄養課の協力を得て、企画食を多く実施。メニューのバリエーションも増え、好評を得ることができた。
- ・ 次年度は感染症の状況をみながら外出行事を検討していく。

○新型コロナウイルス感染予防対策

- ・ 備品の消毒等感染予防対策を実施。
- ・ 当センターにおける感染はなかったが、職員が家庭内濃厚接触のため長い期間自宅待機となることが複数回あり、職員負担が大きくなる時期があった。

○地域交流・ボランティア等受け入れ

- ・ 新型コロナウイルスの影響により今年度も外部ボランティアの受け入れ、地域行事への参加などは実施しなかった。
- ・ 次年度は感染症の状況をみながら検討していく。

○運営推進会議

- ・ 書面による活動報告等のみ実施

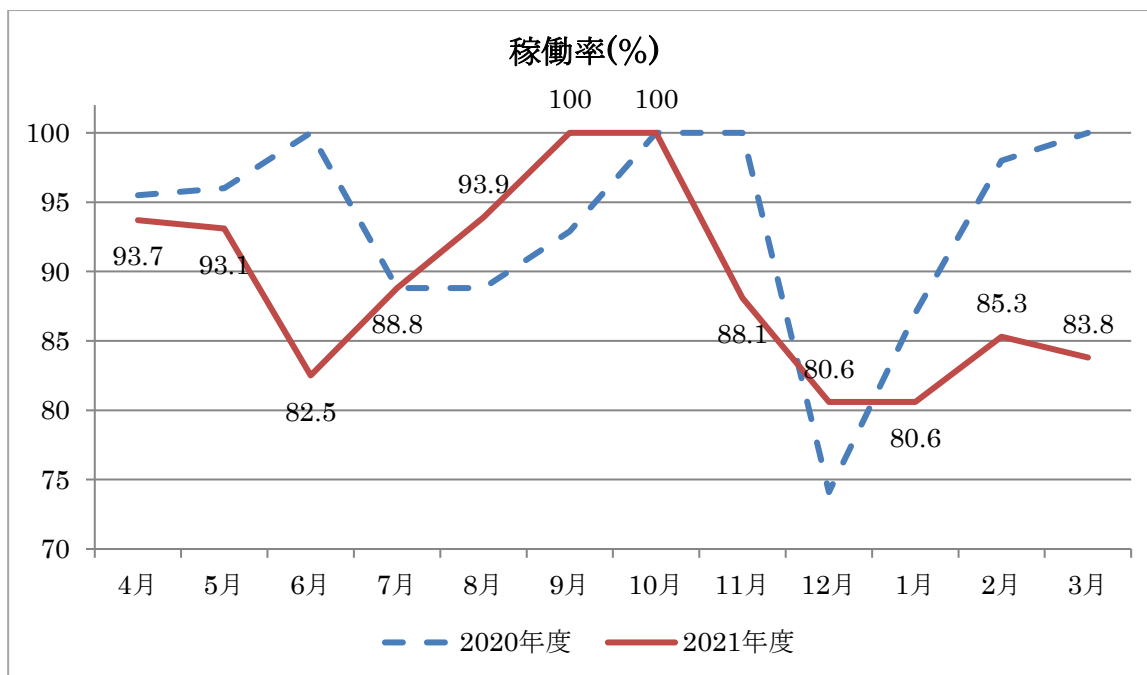
○実習生受入

- ・ 4名受入実施
- ・ ワクチン接種・健康チェック等感染予防を実施しての受け入れを行う。

5. グループホーム悠々やちよ 定員 9 名

(1) 稼働状況

年月	2021 年(令和 3 年)									2022 年(令和 4 年)		
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
延べ利用者数	253	260	223	248	262	270	279	238	225	225	215	234
100 % 時	270	279	270	279	279	270	279	270	279	279	252	279



年間平均稼働率 89.23% 前年度比 -4.23% (前年度 93.46%)

- ・入居 5 名 退居 5 名 (前年度 入居 4 名 退居 4 名)
- ・平均要介護度 3.09 (前年度 3.71)

○稼働低下の要因

- ・年度終盤に新型コロナクラスターの為、約半数の入居者が 2 週間程度入院
- ・骨折・脳梗塞による長期入院
- ・退居者発生後、新規入居者の受け入れに時間がかかり 1 か月余りの空室が生じた。

○前年度に比べると減少したが、入居の問い合わせ等は年間で 19 件あり、定員数に対するニーズは依然として高い。

(2) 報告事項・課題点等

○入居者状況

- ・身体機能低下による重度化の為、3 名が特養へ異動(他 2 名は医療機関等へ)。

- ・新型コロナウイルス感染が施設内において発生し、5名の入居者が感染した。

○活動・レクリエーション等

- ・新型コロナウイルスの為、外部のボランティア等との交流によるレクリエーションなどは著しく制限せざるを得ない状況だったが、ホーム内で可能な活動に取り組むよう努め、季節感を持てたり、楽しみを感じられるような活動の機会を設けることができた。

○職員状況

- ・かろうじて必要出勤者数を確保できている状況であり、時間外勤務の常態化が生じている。
- ・高齢の非常勤職員には身体介護の提供業務が困難な場合も多く、常勤職員の負担が大きいことが継続している。
- ・新型コロナウイルスクラスター発生時には職員も5名が感染し、自宅待機者も生じるなど厳しい状況となった。

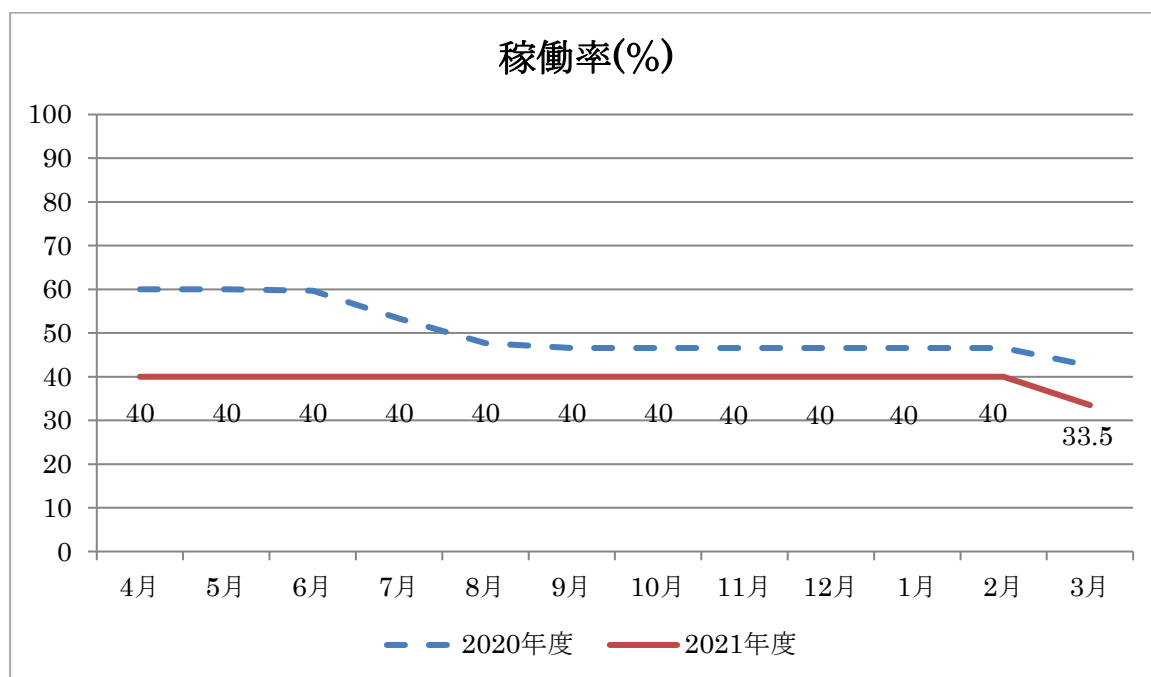
○その他報告事項

- ・運営推進会議については新型コロナウイルス蔓延防止の為、書面による実施のみ。
- ・職員研修についてはほぼ計画通り実施
(新型コロナウイルスクラスター発生時のみ休止)

6. ケアハウス青空

定員 15 名

(1) 稼働状況



年間平均稼働率 39.46% 前年度比 -10.82% (前年度 50.28%)

入所 0名 退所 1名 (前年度 入所 0名 退所 3名)

2022年3月末現在 入居者数 5名

- ・空室解消に向けて外部の施設紹介会社に当施設の紹介を依頼。
その他無料又は低料金の情報掲載媒体(ネット)などを利用。
年度末から入居に関する問い合わせが増えてきている。

(2) 報告事項・課題点等

○職員状況

- ・年度を通じて異動等なし
相談員 1名 介護職員 1名 調理職員 1名

○行事・レクリエーション等

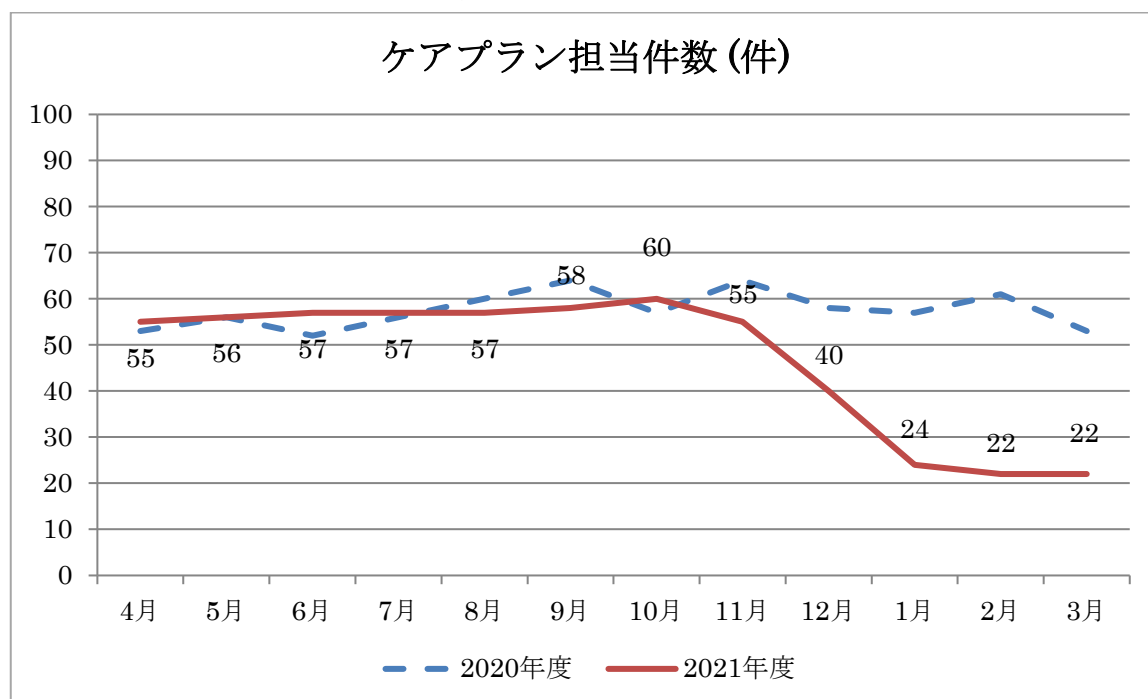
- ・外出行事は新型コロナウイルスの影響により実施せず。
- ・職員付添による買物については、新型コロナの流行状況や周辺ケアハウスの活動状況を確認しながら、回数を減らし実施。
- ・散歩やデイサービスの利用は年度を通じて実施。

○実施サービス等

- ・職員による通院送迎・付添実施
- ・職員・外部ヘルパーによる軽介護(居室内清掃・入浴時見守り等)
- ・外部ホームヘルパー利用者数 3名(年間実人数)
- ・デイサービス利用者数(当法人・外部) 3名(年間実人数)

7. 八千代市在宅介護支援センター八千代城

(1) 稼働状況 (※国保連請求件数より)



- ・ 2021年4月 1日～2021年4月15日 ケアマネージャー3名体制
- 2021年4月16日～2022年1月31日 ケアマネージャー2名体制
- 2022年2月 1日～ ケアマネージャー1名体制

(2) 報告事項・課題点等

- 職員人数が減ることに伴い他事業所へ引き継ぎを行うケースがあったが、情報共有が不足しスムーズにいかないケースがあった。他事業所、関係サービス等との情報共有をより丁寧に行うように気を付ける必要がある。
- 年度末より職員1名体制となっている。1名の為、偏った考えなどに陥らないよう他事業所・併設事業所職員との連携に取り組んでいく。
- 主任介護支援専門員資格保有者が不在の為、次年度以降資格取得を進めていく。

8. 八千代台地域包括支援センター

(1) 総合相談支援業務

- 新規相談…730件
- 前年度は新型コロナウイルス緊急事態宣言期間等に相談件数の減少が見られたが、今年度についてはコロナ以前の平均的な件数だった。
- 主な相談者…民生委員、地域住民、郵便局、金融機関、医療機関
- 感染予防対策…来所・訪問等それぞれの場面に応じた最良の方法を協議し、実施

(2) 権利擁護事業

- 高齢者虐待通報件数…19件（前年度は23件）
対応延べ件数は前年度とほぼ同数
- 虐待行為が長期にわたり継続して見られ、養護者支援等を継続して行うケースも多い。
- 成年後見制度・消費者被害に関わる相談件数は増加。
コロナの影響で遠方の親族が来訪できない・身寄りがなく長期間閉じこもり傾向にあった等の相談が近隣住民を中心に寄せられることが多かった。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

- 圏域ケアマネージャーに対し研修内容に関する要望確認のアンケートを実施。結果、医療連携と災害対応に関する要望が多かった。
- 民生委員との合同研修にて独居高齢者の災害対応に関して事例検討を実施
- 地域医療関係者と医療連携に関する研修を予定するも、新型コロナウイルス蔓延の影響で開催できず。（次年度以降の課題）
- 八千代市地域ケア会議への参加 2回
- 八千代台圏域の介護支援専門員との勉強会 2回予定するも新型コロナウイルスの影響により1回のみ開催

(4) 認知症地域支援・ケア向上業務

- 認知症サポーター養成講座 開催数：3回 養成者数：24名
- 認知症サポーター養成講座以外の講座等 開催数：2回
- 認知症地域支援・ケア向上業務会議への参加 9回
- 認知症関連研修への参加 3回
- 認知症施策推進大綱のうちオレンジカフェを作る必要性の提案に地域住民から多くの賛同をいただき、立ち上げ準備の支援を始めた。（次年度へ継続）

(5) 生活支援コーディネーター業務

○新型コロナウイルスの影響により各活動で制限があった。

○第2層生活支援体制整備事業協議体 2回開催

○令和4年3月から移動スーパーが運航開始

(八千代市と株式会社カスミによる協定締結による)

場所等の選定に当たっては地域自治会等へ協力を要請した。その中でこれまで交流のなかった機関等との連携を図ることができた。

○長寿会連合会会長との顔合わせ・情報交換を実施

(6) 地域ケア会議推進業務

○地域ケア個別会議 実施回数1回

(予定回数未達成だが、関係者間での情報共有・ケース会議は適宜実施)

来年度は開催回数を増やし、課題の抽出や自立支援による重度化防止により努めたいと考える。

○八千代市地域ケア会議 参加回数2回

(7) 介護予防ケアマネジメント事業

○介護予防教室(介護予防普及啓発事業) 15回開催

(感染症対策を講じることで予定していた回数を実施)

○介護予防サロンへの協力回数 4回

○介護予防支援 ケアプラン作成件数 新規19件 再作成61件

委託事業者作成分 新規58件 再作成130件

○訪問件数 64件(実数)